



7/24 春日部市教委との話し合いがありました！

時間：11:00～12:00 会場：春日部市教育相談センター（視聴覚センター2F）

参加者：萩原 山下 大坂 竹迫 中山 藤ヶ谷 実習生 市教委：2名（所長 指導主任）

1. 春日部市では以前から、就学相談時等で特別支援教育の説明のようなリーフレットを利用している。相談時には「まず学区の通常学級に通えることを説明している」と言うが、保護者が仕組みやの流れがわかるようなリーフレットを用意してほしいと伝えた。
2. 2024 年度の就学判定結果と実際の就学先及び転籍数など具体的な数を訊いた。ゆっくり答えてくれたが、わかりづらいので「表にしてほしい」とお願いした。後日渡してくれるようだ。
3. 学校での医療的ケアについて。現在通常級に在籍している児童生徒で、吸引を必要としている子にはパートタイムの看護師（必要に応じてなので）、導尿を必要としている子には訪問看護事業所（時間を決められるので）にお願いしているということ。
4. 通級指導教室と在席の通常学級との連携について。記録ノートを利用し学習状況や教室での様子等細かくやり取りしている。また通級指導が在籍校訪問をしているとのこと。
5. 高校入試、2027 年度県立高校入試から自己評価資料の提出が始まるが、障害の有無にかかわらず文章を書くことや自己アピールが苦手という生徒に対しての支援について。日々の国語の時間などで言葉での表現を指導している。定型文を用意したりキーワードを示したりなど工夫しているということだった。また、特別支援学級から県立高校へ入学した生徒数は、全日制が 3 人、定時制が 5 人。しかし受験者数は把握していないとのことだった。

事前に提出した質問にはきちんと答えてくれたが、時間が 1 時間と短めだった。教育委員会が新庁舎内に移り、以前教育センターだった場所には教育相談センターだけが残った。そのためか相談センター内は人員体制のことも含め、まだ落ち着いた感じがあるようだ。市内に問題は山積みだろうが、子どものことはぜひ丁寧に取り組んでほしいと思う。

（報告：藤ヶ谷）

これからの予定

（連絡・問い合わせ先 mogucchi s@yahoo.co.jp）



総合県交渉1日目	8月21日(木)	10:00～	埼玉会館7C
総合県交渉2日目	9月5日(金)	13:30～	埼玉会館3C
全国交流集会第7回実行委	9月21日(木)	13:30～	浦和コミセン第7集会室
高校問題交渉	9月22日(月)	14:00～	知事公館2階